

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375601016
事業所名	グループホームあま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	コロナの5類感染症移行後、地域交流は順調に復活し、様々な地域行事や催しものに参加し、地域の一員として交流している。地域のスーパーにお願いした移動スーパーは恒例となり、利用者が買い物を楽しみにしている。毎月のボランティア訪問も、交流の機会になっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回の会議を開催している。ホームの運営報告を基に、参加者と意見交換を行い、意見や提案を聞き取っている。行政担当職員と地域包括支援センター両者の参加があり、行政情報と地域情報の提供が得られている。また、地域代表がホーム運営に協力的で、地域とのつながりを担ってもらえる関係性にある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当部署とは、ホーム運営に係わる、報告・相談を通じ、適切に連携している。市役所のエントランスに、ホームのパンフレットを置いたり、利用者の作品を展示したりと、ホームの情報発信に協力を得ている。地域包括支援センターとは、運営推進会議での相談のほか、地域情報の提供を受ける等、連携を図っている。今年度は包括主催のアートの作品展に出展した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議の開催月には、事前にアンケートを実施し、内容を運営推進会議で話し合う等、家族意見の反映に努めている。また、SNSを活用したりアルタイムの情報発信で、利用者の様子を家族に届け、意見や意向が出しやすい環境をつくっている。面会時、電話連絡時等、直接話をする機会には、忌憚なく意見交換を行い、内容には真摯に対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎	○	◎					